

新潟医療生活協同組合機関紙

新潟医療生活協

426

発行責任者
猪股成美
毎月1日発行(月刊)
定価20円
機関紙「新潟医療生活」の
購読料は出資金に含まれる
ものとする。

新潟医療生活協同組合 〒950-0862 新潟市東区竹尾4丁目13番3号 TEL.274-7139 2012年6月1日【第426号】

<http://www.kido-hp.com>

医療福祉生協の理念の論議をすすめ、地域に協同の“わ”をひろげよう



木戸病院で生まれた赤ちゃんが月に一度集まって同窓会が開催されています

第38回 通常総代会方針の骨格

医療福祉生協の論議をすすめる医療福祉生協連の“わ”の力を発揮します。

安心して住み続けられるまちづくりでは、一人ひとりの組合員・地域住民がどれだけ多くの“わ”の中にいるかが大切です。「出会い・ふれあい・支え合い」の活動を引き続きつよめ、協同の力で社会保障制度の充実や脱原発、平和のとりくみ、組合員の繋がりを広げ、地域にさまざまな“わ”をつくり出します。

〈事業活動の重点課題〉

2012年度新潟医療生活協同組合の羅針盤の運動と事業を進める目標

『孤立死・孤独死を防ぐために、新潟医療生活協らしい地域包括システムをめざすとともに、第2次五カ年計画の策定準備を行う年にしよう。』

◇医師、看護師、介護士の確保・育成に取り組みます

◇自治・参加・協同の力を活かした

事業をすすめます

◇がん検診をすすめる、組合員と地域の人たちのいのちを守ります
◇社会環境の変化に対応し、剰余を安定的に確保できる経営をめざします

がんは死亡原因のトップです。早期発見には組合員の自己チェックもかせません。乳がん自己チェック、大腸がん検診(便潜血チェック)キャンペーンを準備してすすめます。生活習慣病の予防と早期発見のため、組合員の健診受診率向上をめざします。保健委員会を先頭に、支部・班で総力をあげて取り組み、特に未受診者を中心に広く声をかけを行います。

〈組合員活動の重点課題〉

引き続き「医・福・食・住」の取り組みを強め、安心して住み続けられるまちづくりをめざします

◇「孤立を防ぐまちづくり」「認知症になっても住み続けられるまちづくり」「災害に強いまちづくり」の3点を重視します。支部活動で機関紙配布時の見守り活動を提案し、訪問行動でも組合員の声を聞き、対話を大切にします。

〈全国四課題の重点課題〉

組合員がつどい、つながる強固な組織をつくり出します
大勢の組合員・役職員が参加する組織づくりをめざし、「組合員総訪問」に取り組みます

◇全支部で支部運営会議の確立をめざします。総支部と連動した年間計画・健診受診・健康セミナー・訪問行動・健康チェック・文化活動・緑のカーテンの策定と、支部ニュースの発行をめざし、個人や班、サークルと支部の連携をつよめます。

◇四万人組合員の早期達成をめざし、だんらんの場合、在宅支援拠点づくりをお知らせし、見守り活動の相談を継続し思いがけなく、ちとなるよう、「組合員総訪問」に取り組みます。



5月からwithそのき班パワーアップし再開です

芦沼

▼医療福祉生協連の患者満足度調査というのが毎年暮れに行われています。▼十数項目について満足できる評価10点からどちらともいえない0点、さらにそうは思わないマイナス10点という評価がなされます。概ね5点以上あればどちらかといえば満足といったところでしょう。▼木戸病院ではすべての項目で前年に比べて得点がアップしていました。「玄関・待合室・トイレは清潔で快適だった」の項目は8・7と高得点で、病院が新しくなった効果でしょう。職員の服装や対応にも満足度が高かったようです。▼しかし他の生協を含めた全国平均より下回った項目もいくつかあり、「待ち時間」については3・4と低いものでした。いろいろと改善のための工夫がされているものの、なお改善が必要ということ。▼入院については、退院時の支払い費用が事前に知られていないことへの不満が多いことがわかりました。これは早急に改善されるものと思っています。▼最後に、「〇」の病院を知りたいと紹介したいと思うかについては外来5・9、入院6・4でした。どう判断されますか？(T・O)

TOPICS
1

旧病院は「芦沼ガーデン」(仮称)へ生まれ変わります ささえあう。毎日が笑顔。 医療も住まいもある、虹のどんらん、つどいの広場

旧木戸病院がサービス付き高齢者住宅として生まれ変わります。3階・4階・5階を住宅で合計70戸。3階には食堂を兼ねたステージ付きシアタールーム、会議室、研修室を完備する予定です。そして、1階・2階は地域の組合員の皆さんが集い、笑顔が生まれる複合施設に変わります。

〈1階〉

訪問看護ステーション・訪問介護ステーション・厨房・フリーマーケットスペース・産直市場。ラウンジ・ライブラリー(新潟医療生活協同組合の歴史と資料)・足湯・動物ふれあいコーナー・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・大浴場・リラクゼーションルーム。

〈2階〉

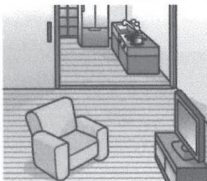
木戸クリニック・鍼灸・通所リハビリ・ショートステイ38床・デイサービスを予定しています。

※現在入居の申し込みは受け付けておりません。秋ごろを予定しております。お問い合わせは、ぜひ申し込みは、今しばらくお待ちください。よろしくお願いいたします。お申し込みをお願いします。

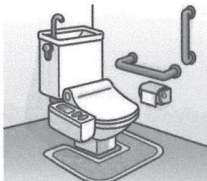
「サービス付き高齢者向け住宅」の登録基準

規模・設備

- 各専用部分の床面積は、原則25㎡以上
(ただし、居間、食堂、台所その他の住宅の部分が高齢者が共同して利用するため十分な面積を有する場合は18㎡以上)
- 各専用部分に、台所、水洗便所、収納設備、洗面設備、浴室を備えたものであること
(ただし、共用部分に共同して利用するため適切な台所、収納設備または浴室を備えることにより、各戸に備える場合と同等以上の居住環境が確保される場合は、各戸に台所、収納設備または浴室を備えずとも可)
- バリアフリー構造であること



段差のない床



手すりの設置



廊下幅の確保

組合員の方で
日本一安心安全な
まちづくりの拠点に
しましょう!

TOPICS
2

保健委員会活動報告 木戸保健委員会総会が行われました

～木戸保健委員会～

昨年7名の新保健委員を迎え総勢350名の保健委員となった木戸保健委員会。4月27日(金)木戸保健委員会総会がアネックス棟3階で行われました。

総会の議事では、昨年度の活動の報告、今年度の活動の方針、特に木戸保健委員会として健康のありがたき、健診の大切さをどう伝えるか話し合われました。また、あし沼荘ボランティアの関わり方を改めて考え、ボランティア活動の内容を討議しました。

2部の記念学習会では、今年の新たな試みとして「手先を使って認知症予防」クラフト教室・ストーンペイント貯金箱・びいたん花コサージュ作りが行われました。

★びいたん花コサージュ

端切れ布(45cm×15cm)に少しハサミを入れ、あとは指で引き裂き、毛糸のポンポンを作る要領で花にします。端切れはさまざまな表情を持ち、とても素敵なびいたんコサージュになりました。

びいたん花コサージュと
ストーンペイント貯金箱

★ストーンペイント貯金箱

石の表情をとらえボスカで色を塗り、フィルムケースにボンドをくっつけるだけの貯金箱です。

フィルムケースには500円玉が21枚入ります。貯まった時には1枚はご褒美で20枚は(1万円)は増資につながる貯金箱の完成です。

参加者の感想は「楽しかった」「思ったより悩みなが作りました」「支部へ持ち帰り自分の班でもやりたい」との声が聞かれました。



Information

職員募集

- 《木戸病院》看護師 助産師 薬剤師(正職・パート)
 《石山訪問介護センター》訪問介護員(嘱託)
 ・問い合わせ 総務課 桑野
 ・電話 273-2151 (内線3122)

新潟医療生協の「なんでも相談」

日ごろ、困っていることや悩み、医療、福祉、保険など、なんでも相談してください。面談や電話、手紙でも結構です。秘密は固く守られます。

- ・相談担当 飯塚孝子(新潟市議会議員)
 6月 9日(土) 午前10時～12時
 7月14日(土) 午前10時～12時
 渡辺有子(新潟市議会議員)
 6月23日(土) 午前10時～12時
 7月28日(土) 午前10時～12時
- ・場 所 木戸病院 1階相談室
 ・住 所 新潟市東区竹尾4丁目13番3号
 ・電 話 025-273-2151 (代表)

山の会よりお知らせ

新潟医療生協 山の会7月の計画

- 「長野県 白馬 八方池」
 ・日 時 7月27日(金) 午前4時 出発
 ・参加費 7,000円(リフト代金含む)
 ・お問い合わせ電話 274-7139 (栗林)

新潟医療生協9条の会「5周年記念のつどい」

- ・日 時 2012年6月23日(土) 12:30～16:00
 ・会 場 東区プラザホール(旧イトーヨーカドー)
 ・記念講演 あるウチナンチュ(沖縄の人)の思い
 ・講 師 上地 源光氏
 ・スケジュール 12:30 受付開始
 13:15 オープニング
 14:00 記念講演
 16:00 閉会
- ・主 催 新潟医療生協9条の会
 ・お問い合わせ電話 273-9705 (五十嵐)

第34回 木戸病院糖友会総会

糖友会に入会していない方の参加もお待ちしております。

- ・日 時 平成24年6月16日(土) 10時～13時
 ・会 場 木戸病院アネックス棟3階講堂
 ・内 容 記念講演「糖尿病と脳のはなし」
 講 師 木戸病院 神経内科 高橋俊昭 先生
 平成23年度活動報告および24年度方針について
 昼食交流会
- ・参加費 600円
 ・お申し込み電話 6月7日(木)までに健康づくり課
 274-7139

お知らせ

「降雨時における新病院駐車場の排水について」

新病院の駐車場の持つ機能として『排水貯留施設』を兼ね備えております。病院本館の位置よりも低く設置され、雨水を大量に下水管に排水するのではなく、流量を絞った上で竹尾排水路に流しています。大雨の際には鳥屋野潟の排水能力に限界があり、当駐車場に一定量の雨水が残る、時間をかけての排水のため場内通行時に支障が出ることもありますので、大雨の際は雨靴のご用意をお願いします。ご理解とご協力を、お願いいたします。

◆**摂食嚥下障害とは**
 「摂食」とは、食物を口に取り込んで食べること。「嚥下」とは、飲みこむことという意味で、「摂食嚥下障害」とは、食べることには何かしらの異常が起ることを示します。

摂食嚥下障害では、食物や水分を取れないことで低栄養や脱水が引き起こされたり、食物が間違つて気管へ入ると誤嚥(ごえん)で肺炎が引き起こされたりします。また、食べることができなくなると日々の楽しみが失われてしまいます。

◆**摂食嚥下障害の原因**
 普段は何気なく行っている「食べる」という行為ですが、五感や口のどのなどの多くの筋肉が関わる複雑な行為です。疾患や加齢の影響によるわずかな障害でも、全体的な摂食嚥下機能の低下につながります。

一般的に摂食嚥下障害が起こりやすい疾患として「脳こうそく」や「パーキンソン病」などがありますが、その他にも多くの原因があり病態や対応法が異なります。

◆**摂食嚥下障害の診査**
 次のような症状があればまる方は摂食嚥下障害の可能性があります。

- ・食事中に頻繁にむせる
- ・食べるのが遅くなる
- ・口の中に食物が残る
- ・食後に痰が多くなる
- ・体重が減少する
- ・肺炎を繰り返す

摂食嚥下障害が疑われた場合には問診、口腔内診査、機能評価、画像検査を行い、どのような摂食嚥下障害が引き起こされているのかを調べます。

① **歯科の対応**
 口腔ケアで衛生状態を改善し、口腔内細菌を減らすことで誤嚥性肺炎の予防を目指します。また、かみ合わせや飲みこむときの顎の安定が摂食嚥下機能に関わっていますので、必要に応じて入れ歯などのかみ合わせを直します。

② **嚥下訓練**
 食物を使わない訓練(ストレッチや呼吸訓練、嚥下に関連する筋肉のトレーニングなど)や、食物を使った訓練があり、それぞれの方の機能回復・維持に合わせて組み合わせを考えます。

③ **摂食時の姿勢**
 摂食時に崩れた姿勢や前かがみだと食物を誤嚥することがあります。このような場合には、背もたれのある椅子やクッションなどを使い姿勢を整えて対応します。

④ **食品の調整**
 水やお茶などの液体でむせる場合には、液体にとろみをつけて対応することがあります。

高齢の方では、摂食嚥下障害の自覚が乏しかったり、自分で訴えることが困難な方もいますので、周囲の方の注意が必要です。

木戸病院歯科では、皆さまが一生おいしく安全に自分の口から食べることがサポートしたいと考えております。



摂食嚥下障害について

歯科医師 福原孝子



新しい風が吹く「6階病棟 産婦人科」 Vol.9

産婦人科の病室を持つ6階の病棟はLDR室というお部屋があります。
陣痛～分娩～回復期を家庭にいるような雰囲気の中で、リラックスしてお産ができる部屋です。
木戸病院産婦人科は安心して出産ができるたくさんの工夫があります。



あなたらしいお産を、
私たちがサポートいたします。

新しくなった木戸病院では、アットホームな雰囲気の中で
心の通ったご出産が出来るよう
様々なサポート体制で取り組んでいます。

助産師による保健相談、一緒に考える
パースプラン(できる限り妊婦さん
や家族の方々の思いに沿った出産計
画)、赤ちゃんを迎える各種教室。安全
に生まれ健やかに育つようにサポート
を行っています。

安心して出産ができるようスタッフ
一同、心からお待ちしております。



マザークラスはお母さんの交流の場です

そして安心して育てる
ためのひとつとして、「び
よびよクラス」が開催さ
れています。当院で出産
されたマザーさん&赤ちゃん
を対象に月に1回赤
ちゃんの同窓会を開催
しています。
助産師を交えての意見
交換や知識の提供、いろ
んなイベントを企画し
ています。

齋藤師長に伺いました。

これから木戸病院で
出産を控えている皆さ
んにメッセージ！
病院での出産のメリッ
トは安全に安心して出
産できることだと思っ
ます。小児科との連携も
ありますし、内科疾患の
ある妊婦さんにも対応し
ています。心配なことや
気になることなど、どん
な声をかけてください。

お待ち
しました

「フラダンス」サークル始まります！

- ・午後の部 水曜日 15:30～16:30
- ・夜の部 金曜日 19:00～20:00
- ・会費 ￥2,000/月
- ・場所 木戸病院メディカルフィットネススタジオ
- ・持ち物 汗拭きタオル、飲み物(水分補給)、動きやすい服装(裸足)
- ・お問い合わせ 生協組織部 274-7139

サークル会員
募集中！

健康づくり!仲間づくり! Vol.19

毎月班会の紹介をさせていただきます！

石山総支部 下場新町支部班

居浦自治会を会場に、偶数月の第
2金曜日・1時30分から班会を行っ
ています。新潟医療生活協の班会の中
ではまだ数少ない男性が1/3参加
されているとても貴重な班です。

班のみんなで血圧を測り、楽しく
お茶を飲みながら学び、語り合い、

ゆっくりとした時間が流れています。
しかし、レクリエーションの時は俄か
に活気づき、喜んだり、悔しがったり
とおなかの底から笑い楽しめます。こ
れからも元気に末永く続くことを願
います。



組合員のみなさま

新潟医療生活協同組合 木戸病院

医療生協の患者の権利章典

1991年5月11日 1991年度日本生協連医療部会にて確定
医療生協の「患者の権利章典」は、組合員自身のいのちをめぐみ、いとおしみ、そのために
自らを律するものです。同時に、組合員・地域住民すべてのいのちを、みんなで大切に、支
え合う、医療における民主主義と住民参加を保障する、医療における人権宣言です。

一患者の権利と責任

患者には、関わる主体者として、以下の権利と責任があります。

- 〈知る権利〉 病名、病状(検査結果を含む)、予後(病気の見込み)、診療計画、処置や
手術(選択の理由、その内容)、薬の名前や作用・副作用、必要な費用など
について、納得できる説明を受ける権利。
- 〈自己決定権〉 納得できるまでの説明を受けたのち、医療従事者の提案する診療計画な
どを自分で決定する権利。
- 〈プライバシーに関する権利〉 個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されな
い権利。
- 〈学習権〉 病気やその療養方法および保健・予防等について学習する権利。
- 〈受療権〉 いつでも、必要かつ十分な医療サービスを、人としてふさわしいやり方で受
ける権利。医療保障の改善を国や自治体に要求する権利。
- 〈参加と協同〉 患者みずからが、医療従事者とともに力をあわせて、これらの権利をまより
発展させる責任。

現在、医療福祉生協連では、この文書をさらに発展させ、国民の健康権を守り、くらしの中
で健康をつくる視点から、「いのちをまもり、健康をはぐくむ章典」(仮称)への制定にむけ
て、全国で検討が行なわれています。

新潟医療生活協同組合員現勢 (平成24年4月30日現在)
組合員数 38,550名 出資金総額 17億5,756万円

〈事業所〉 木戸病院 TEL.273-2151
健診センター TEL.270-1831
木戸クリニック TEL.274-7960
石山診療所 TEL.276-5111

石山訪問介護ステーション TEL.276-7450
訪問介護センターすみれ TEL.276-5150
ケアプラン石山 TEL.276-6840
ほほえみの里きど TEL.275-1121